

## 済美南地区 第3回 地域コミュニティワークショップ 概要

日時	平成27年8月1日(土) 19時00分～21時00分
場所	春日公民館済美南分館
出席者	済美南地区各種市民公益活動団体等 約40名
<b>ワークショップの内容</b>	
<b>1 開会</b>	ファシリテーターを務める榊ひとまの宝楽陸寛氏から、前回の振り返りがあった。
<b>2 行政からのコメント</b>	第1回及び第2回のワークショップで出された課題やそれに対する解決策等について、市からのコメントを伝えた。(詳細は別紙「意見一覧」参照)
<b>3 地域からの意見(抜粋)</b>	コメントに対する意見交換をした。その際に出た主な意見・課題は以下のとおり。 <div style="text-align: right;">※発言は○=地域 □=市</div>
(1) <u>自治会未加入者への働きかけについて</u>	○：自治会に入っていない人への働きかけをしていただきたい。 □：新たに奈良市に転入した方には自治会加入を促すチラシを配布しています。ただ、以前からお住まいで自治会に加入されていない方への働きかけはできていないのが現状であるとのことです。
(2) <u>通学路の調査について</u>	○：済美南地区の地域ミーティングの際に通学路の調査をしてもらおうという話が出ていた。夜など、時間帯によっても印象が変わると思うので、現場に即した対応をしていただきたい。 ○：市や地元代表、警察等で構成される通学路安全推進協議会に学校長から調査を依頼されている。この協議会には自治連合会長も入っており、一緒に調査を行っている。
(3) <u>ボランティアポイント制度の対象範囲拡大について</u>	○：子どもの見守り活動をボランティアポイントの対象にすることはできないか。
(4) <u>地域包括支援センターの情報開示について</u>	○：地域包括支援センターの情報をもっと教えていただきたい。 □：啓発パンフレット等で情報を流しているが、さらなる周知に努めていきたいとのことです。
(5) <u>高齢者が出すごみの回収について</u>	○：ごみステーションまでごみを運ぶのが高齢者には大変なので、個別回収などで対応することはできないか。 □：収集する人員や費用が減っているため個別回収は難しい。しかし、今後の高齢化社会に対応できる収集業務の見直しも含め検討するとのことです。
(6) <u>独居者への見守り活動について</u>	○：独居者への見守り活動を行うために、独居者の名簿をいただけないか。 □：個人情報であるため公開は難しいとのことです。
(7) <u>市と県の管轄を越えた対応について</u>	○：陸運局跡地の活用や岩井川の整備についての管轄は県だと思うが、市から県に取り次ぐといった対応をしていただきたい。
(8) <u>災害に備えたかまどベンチの設置について</u>	○：災害に備えて、非常時に熱源として利用することができるかまどベンチを公園に設置する

ことはできないか。

#### 4 まとめ

宝楽氏からまとめがあった。済美南地区においては各種団体の連携・つながりが強くコミュニケーションも十分とれていると思うので、次のステップとして、こういった話し合いを続け、5年後どのような地区にしたいかというビジョン（地域自治計画）を皆で作っていくといいと思う。

一方で、皆さんの取り組む姿がその他の住民に十分伝わっていない可能性がある。今年度から作成を始められた広報紙などを使って、自治会未加入者を含め住民へのさらなる情報発信に努めることが有効だと思う。

最後に西上自治連合会長から挨拶があった。今回のワークショップを機に行政との協働を進めていきたい。また、地域のあるべき姿はみんなで話し合っ決めて決めなければならない。地域自治協議会もその理想の1つだと思うので、みんなで理想像の共有を図っていきたい。

以上